

わかやま産業通信

Wakayama Industrial News Magazine

第4号

平成29年8月4日発行



わかやま産業通信

第4号

平成29年8月4日発行

わかやま産業振興財団が発行する広報誌

広告

創業支援

経営支援

金融支援

全力! YOUR PARTNER



中小企業のベストパートナーとして、「信用保証」により事業資金の調達を力強くサポートします！

相談無料

まずは保証協会へご相談下さい。

©先プロダクション

和歌山県信用保証協会

<http://www.cgc-wakayama.jp/>

○本所

〒640-8158 和歌山市十二番丁 39 番地
TEL.073-423-2255 (大代表) FAX.073-433-9700~2

○田辺支所

〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘 21 番 24 号
TEL.0739-22-4666 (大代表) FAX.0739-24-9212

信用保証協会は、中小企業・小規模事業者の金融円滑化のために設立された公的機関です。

01

特集

「木も森も見られる人づくり」

——和歌山ものづくり経営改善スクールを知る

- 03 戦略を知る 「前進する企業へ」- 株式会社インテリックス
- 05 こんな製品ができました! - 中小企業元気ファンド・農商工連携ファンド編
- 07 もっと知りたい・和歌山ものづくり経営改善スクール 修了生連絡会「和楽会」
- 08 PICK UP! 「第26回 わかやまテクノ・ビジネスフェア」

<発行>



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用
地球環境保護のために、再生紙と
植物油インクを使用しています。

〒640-8033 和歌山県和歌山市本町二丁目1番地 フォルテワジマ6階
●JR和歌山駅下車 ③番乗り場 和歌山バス「本町2丁目」下車
●南海電車和歌山市駅下車 ⑧・⑩番乗り場 和歌山バス「本町2丁目」下車
TEL 073-432-3412 / FAX 073-432-3314
URL <http://www.yarukiouendan.jp/> / E-mail info@yarukiouendan.jp
年2回発行 第4号 / 印刷所 西岡総合印刷株式会社

木も森も見られる人づくり

和歌山ものづくり経営改善スクールを知る

自社の経営改善のために、外部のコンサルタントを雇った経験はありますか？もしもそれが、客観的で専門性の高い意見を求めているのであれば有効な一手ですが、それほど効果が得られなかったという方もいるかもしれません。これは一概にコンサルタントが悪いというわけではなく、解決すべき問題が社内構造の奥底にあったり、費用等の観点から継続的にアドバイスを受けることが困難であることに起因する場合があります。では、奥底の問題を解決するために長期的な時間と費用がいるとすれば、誰がコンサルタントに相談しいのでしょうか？それは他の誰よりも、その会社を経営する、あるいはその会社で働く「あなた」自身なのです。

和歌山ものづくり経営改善スクール（以下、スクール）では、自社の改善に取り組み、ものづくりの良い流れづくりができる「ものづくり改善リーダー」の育成を支援しています。木も森も見られる人づくりも全体も視る・診ることができませんか？

「ものづくり」とは

一般的に、「ものづくり」という言葉を聞いて連想するのは「製造業」である。しかし、スクールで目指している「ものづくり経営改善」が、製造業や製造現場の改善だけを指すのかというところではない。では、ここでの「ものづくり」とは何を指すのだろうか。

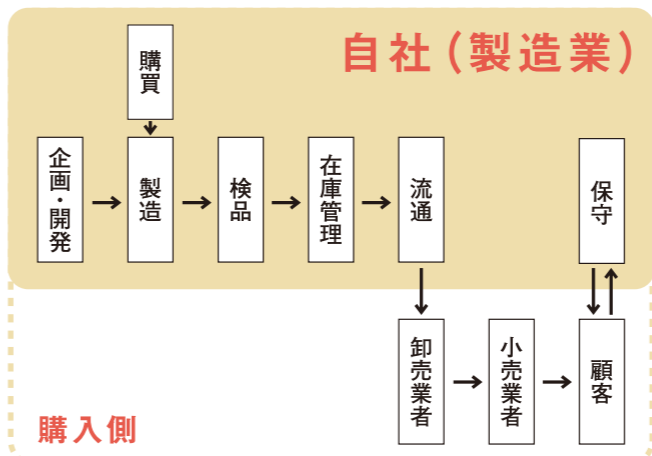
仮にあなたの会社が製造業だったとする。そこで作られた製品が顧客に届くまでに、どのような部署・部門・関係会社等が関わりあっているかをフローチャートに描いてみよう。すると、製品の企画開発を行う部署、原料・部品を購入する部署、実際に工場で製造する部署、製造したものを流通させる部署、完成した製品を販売する業者…などの様々な人・組織が関わっていることに気がつくと思う。そして製品が顧客へ届くことで、この一連の流れが事業（商売）として完結するのである（図1）。スクールでは、こういった製品の企画開発から製造販売および保守等を含めた

大きな流れづくりのことを「ものづくり」と呼ぶ。広義のものづくり経営改善とは、この大きな流れをより良くしようという取り組みなのである。

良い設計情報の良い流れづくり

作られた製品は、顧客に選んでもらい購入してもらったことが目的だが、ここで少し立ち止まって考えたいのはそもそも買い手が製品を購入するに至る動機は何かということである。つまり、私たちが日頃買い物をする際に何に對して価値を感じ、それを欲しいと思ってお金を払っているのかということ。

紙コップを例にして考えてみよう。紙コップは材料である「紙」を防水加工した「紙コップ用の紙」を組み立てることで作られる。紙の原材料はパルプで、パルプは木材だ。仮に紙コップを購入したいと思っている人がいたとして、原材料である「木材」や「パルプ」、あるいは組み立て前の「紙コップ用の紙」を購



△図1 製造業の流通フロー例

に付け加えられた機能・構造（あるいは様式）に価値を感じてお金を支払っている。この価値を「付加価値」といい、製造業はこの付加価値を原材料に与えていく（スクールでは、これを「転写する」という）ことで製品を作り出しているのだ。

また、製品は製造者のアイデアや市場のニーズを反映させて企画されるが、これを元に製品開発を行うとき「どのような機能の製品を・どのような材料を使って・どのような形に仕上げるか」等の情報（設計情報）が必要となる。生産は、これらの設計情報を媒体となる原材料へ転写

し、製品を作る活動のことを指す（図2）。先ほどの紙コップで例えると、媒体となる原材料が「木材」で、それを「パルプ」・「紙コップ用の紙」・「紙コップ」へと加工・組み立てる元となる情報が設計情報。そしてそれらの設計情報を転写することで紙コップが完成するため、転写の中で与えられた付加価値の源泉は設計情報にあると言ったことができる。先で述べたように、買い手は付加価値に対して魅力を感じ製品を購入するに至る。つまり言い換えると、スクールで目指すものづくりとは、顧客へと向かう「良い設計情報の良い流れづくり」なのだ。



△第一期の現場実習の様子（協和プレス工業株式会社）

木も森も見られる人へ

ここまでがものづくりの基礎概念であるが、最後に、スクールが受講生とともに目指すものをお伝えしておきたい。

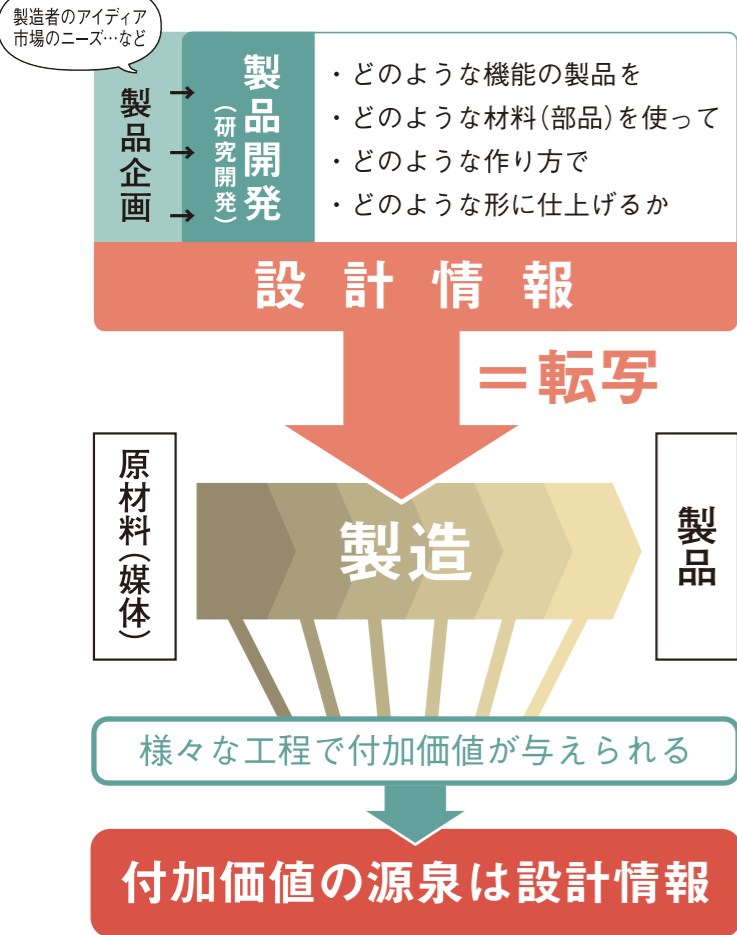
仮にものづくりの流れを良くしようと思ったとき、改善対象となるのは製造部門か販売部門か、あるいは企画・開発部門か。答えは「そのすべてが対象になり得る」。しかも一度に改善が行えるわけではないため、特に優先順位の高い改善点を見極め、的確に対処していく必要がある。そのとき求められるのは詳細な分析が行える専門性だけでなく、全体を視る・診ることができ

「木を見て森を見ず」ということわざがあるが、スクールで目指すのは、まさに「木も森も見られる」人づくり。あなたの会社において最も優秀なコンサルタントになり得る人材を自社で養い、これからの10年20年を生き抜く・勝ち抜く力をぜひ身につけていただきたい。

第一期 受講企業代表者様のご感想

当社では現場実習も行っていただきましたが、スクール受講生だけでなく実習窓口になった社員にとっても、非常に得難い経験になったと思います。気づきがたくさんあったのではないかと。他の企業の現場に入って改善を学ぶという取り組みも斬新ですし、非常に勉強になる。自他の良いところ・改善すべきところが比較できると感じました。

大きな費用を伴うコンサルタントにお願いするより、よっぽどタメになります。自社の改善はこれから本番。受講生同士の人脈ができることも大変な財産になりますし、是非、継続的な取り組み・フォローをしていただきたいですね。



△図2 製造に係る設計情報と付加価値の関係

製造者のアイデア
市場のニーズ…など

製品企画
（研究開発）

- どのような機能の製品を
- どのような材料(部品)を使って
- どのような作り方で
- どのような形に仕上げるか

設計情報

= 転写

製造

様々な工程で付加価値が与えられる

付加価値の源泉は設計情報

△図2 製造に係る設計情報と付加価値の関係

戦略を知る



株式会社 インテリックス

〒649-6311 和歌山県和歌山市里174-1
 TEL 073-462-7724 / FAX 073-462-7758
 URL <http://www.interix.co.jp/>

- 創業 / 平成2年8月
- 資本金 / 1,000万円
- 従業員 / 310名
- 事業内容 / オーダーカーテンの製造・販売・内装工事等
- 活用事業 / 和歌山ものづくり経営改善スクール(第一期・第二期)
 受発注情報収集・提供事業(和歌山県中小企業ガイドブック掲載)



△図1 インテリックスと他社とのカーテン製造販売に係る過程

を行う従業員にお手本として見せ、具体的はどう取り組めば効率よく作業できるかを共有するのだ。さらにAさんは客観的に自分の作業を見つめなおすことができるため、更なる改善を行えるというものである。このように、標準的なお手本を分かりやすい形で提示し、今までベテラン社員が個人の感覚で行っていた作業を全員で共有化することで、業務全

体の生産性・品質水準の向上へと繋げるのだ。こうした仕組みづくりによって、その企業独自のノウハウが見えるカタチで蓄積され、作業者に左右されにくい均一な品質・生産性を保つことに成功したのである。こうした努力を背景に、売上増進のキーポイントとなるのがやはり接客である。カーテンは部屋の雰囲気や左右するインテリアであるうえに、オーダーカーテンとなるとさらに覚えなければならぬ専門的な知識が多いそうだ。顧客の要望に答えられる、いわゆる「カーテンのコンサルタント」としての接客が求められるため、誰でも入社してすぐに一人前になれるというわけではない。そしてここで着目したいのは、新規店の出店ペースである。現在ジャストカーテン事業部は全国6県に13店舗を持つ、おおよそ1年に1店舗ずつ新規店を出店しているが、これは人の育つペースに比例しているという。と言うのも新規店の責任者を既存店の店長から選択する場合、その店長に代わって既存店を支えられる人材が育っていないと、既存店の売上が落ちてしまうからである。焦らずに人がついてこられるペースで出店することが社全体の売上増進へと繋がってゆくのだ。

vol.1

「前進する」企業へ

近年、従来経済の枠組みの流動化が一段と進み、企業を取り巻く環境が目まぐるしく変化するなか、株式会社インテリックス(以下、インテリックス)はワンプライスのオーダーカーテンの製造販売を行う「ジャストカーテン事業部」によって、創業以来年々右肩上がりに売上げを伸ばしています。同社のような事業形態は他にも見られますが、インテリックスがここまで急成長し続ける理由は何なのでしょう？

焦らず、自社で取り組む

同社が展開するジャストカーテン事業部は、「縫製工場直営ショップ」である。これは、通常のカーテン製造に係る企画開発から製造販売までをすべて自社で行うことにより中間コストを徹底的にカットし、商品を安く消費者に届けるという仕組みだ(図1)。しかも安いだけでなく国内工場で丁寧に縫製されるため、商品の質も高い。「ハイセンスでハイクオリティ、だけどロープライス」を謳う

バランス感覚を持って

ここまでで紹介した取り組みもさることながら、インテリックスについて最も特筆すべきは、社長・木村明人氏の類まれなるバランス感覚である。

経営者は企業を経営するために常にシビアに物事を見極めなければならぬため、新たな取り組みに対して必ずしも寛容ではない。そこで生まれる抵抗感や従業員を守るために必要になることがあるからである。しかし木村社長は、新たな取り組みを実行するかを慎重に判断するに当たり、まずは前向きに検討する柔軟な挑戦心を持ち合わせている。ワンプライスのオーダーカーテンを取り扱う企業は他にもあるが、インテリックスはこの木村社長のバランス感覚を軸に前へ進んでいく力があるからこそ、急成長を続けるのだ。「インテリックスは私の代から起業したので、先代のプレッシャーがない分、今までの蓄積もまったくありませんでした。だから、新しいことに取り組むしか道がなかったんです。「風通し」の良い社風」なんて言われますが、工場長や社員と意見がぶつかることも少なくありません。だけど、そうやって社員みんな「ああでも

インテリックスの取り組みは国内初であると認められ、経済産業省が選定する「がんばる中小企業300社」等の賞を受賞するまでに至っている。このような内製化への取り組みは世界的な大企業であるGeneral MotorsやStarbucks等でも進められているが、アウトソーシングが普及した今、敢えて業務のほとんどを自社で行う強みとは何だろうか。それは中間コストの削減だけでなく、何よりもその業務に関係する知識や技術等のノウハウを蓄積できることにある。

インテリックスで働く従業員にはパート社員が多く、そのほとんどが女性だ。男性に比べて、出産や育児などで変動しやすい人材ではあるが、ベテランの女性パート社員が持つ技術力は一朝一夕で身につけられるものではない。しかし、作業者によって品質にバラつきが生じることは避けなければならぬ。そこで、インテリックスが新しく取り組みを始めたのは「作業の標準化」である。例えば、速くて綺麗な縫製ができるAさんという従業員の作業風景をビデオカメラで撮影する。これを同じ作業



木村 明人(きむら あきひと)
 昭和33年和歌山市生まれ。昭和57年に青山学院大学 経営学部 経営学科を卒業し、住江織物株式会社に入社。同社を退職後和歌山に戻り、平成2年に株式会社インテリックスを設立する。オーダーカーテンの製造販売業者としては国内最大の自社縫製工場を持ち、顧客の多様化するニーズに柔軟に応える商品を企画販売している。

ない、こうでもない」と試行錯誤し選別肢を潰していけば、どんどん前進できると感じています。最近では若い世代から自発的に職場環境の改善案なども出てきているので、さらに会社全体を巻き込んでいって欲しいと思いますね。」
 そう語ってくれた木村社長。インテリックスは、今号で特集している「和歌山ものづくり経営改善スクール」にも参加しており、今後も人材育成を進めながら新しい挑戦を続けてゆく。

*1アウトソーシング：業務を外注すること。
 *2 全国6県：和歌山・大阪・兵庫・愛知・神奈川・福岡の6県。

⑥ エコ和歌山(株)

パイル織物を利用した汚泥減容化排水処理システム



食品工場などの排水の処理過程で発生する余剰汚泥は、環境汚染が懸念される現代において、その削減が求められている。また、紀北の地場産業である「パイル織物」の持つ立体構造は排水処理に有利であることが示されており、エコ和歌山(株)はこのパイル織物を活用した排水処理システムを開発した。従来のシステムと比較して80%を超える余剰汚泥の削減に成功し、加えて排水処理施設のランニングコストの大幅な削減に成功。これによりシステム設置にかかるコストを5年程度で回収することが可能となった。

所在地 〒646-0051 田辺市稲成町726-1
TEL 0739-25-0110
代表者 代表取締役 中田 祐史
設立 平成4年5月

平成23・24年度
中小企業元気ファンド
採択企業

④ サンキョー化成(株)

木粉入り樹脂を使用した家庭用品



樹脂製品はペレットと呼ばれる米粒状の原材料を成形加工することで作られ、中でも木粉入り樹脂ペレットによって作られる木粉製品は、木の質感を残しながらも木製品よりも安価で破損に強く、様々な用途で使用されている。しかしペレット本体の安定性が悪くロット毎のばらつきが大きいため、安定成形が困難であった。そこでサンキョー化成(株)は、木粉入り樹脂と汎用プラスチックの混合を重ね、安定性を向上させた木粉入り樹脂ペレットの開発に成功。現在は成形サンプルを元に営業活動を行っている。

所在地 〒640-0441 海南市七山356-1
TEL 073-488-0228
代表者 代表取締役社長 久保田 哲司
設立 昭和52年1月

平成20年度
中小企業元気ファンド
採択企業

② 三木理研工業(株)

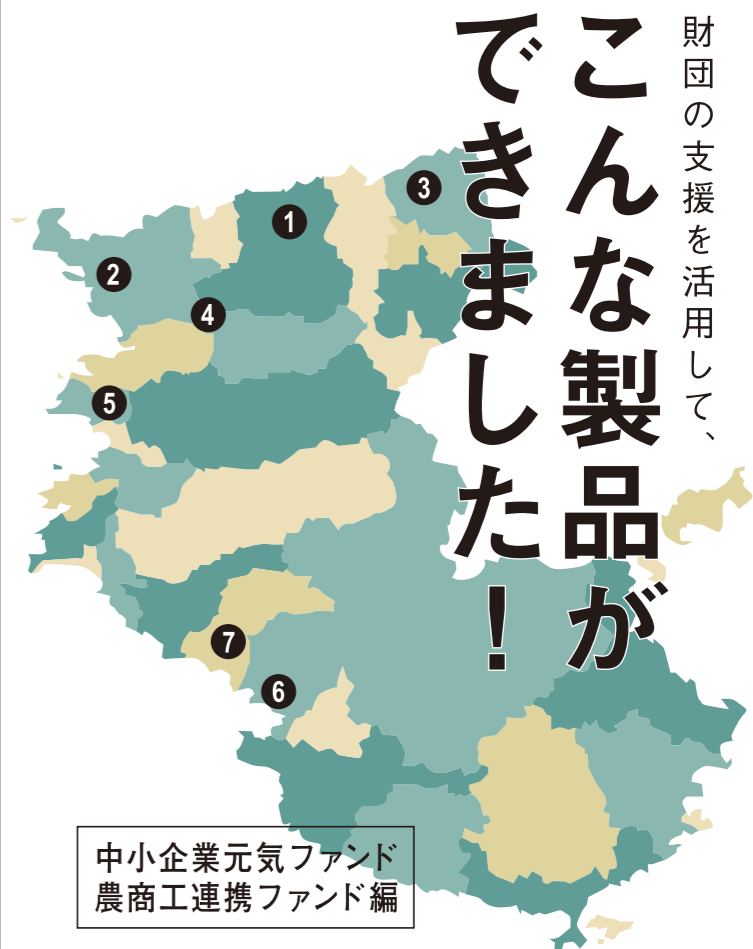
機能付与木材(幾何学模様化粧ツキ板シート)



木材は「寸法が狂う」「傷がつく」「日焼けする」等の欠点から今まで利用範囲が限られていたが、三木理研工業(株)が開発した寸法安定樹脂、および含浸技術の確立によって、これらの欠点を解決することができた。こうして開発された「機能付与木材(上写真はその内の1つ)」は、従来では利用の難しかった水周りや床暖房、外装材など、新しく利用できる範囲を拡げることに成功。さらに寸法安定化によって木材の方向性を自由に組み合わせることが可能になりデザイン性の多様化へと繋がった。

所在地 〒640-8441 和歌山市栄谷13-1
TEL 073-451-2271
代表者 代表取締役 三木 保典
設立 昭和42年7月

平成21・22年度
中小企業元気ファンド
採択企業



⑦ (株)岩本食品・久保農園

美梅酢



梅干作りの副産物としてできる液体「梅酢」には、クエン酸や梅酢ポリフェノールなど梅干と同様の栄養素が豊富に含まれているが、今まで活用例が少なく廃棄されてきた。そこで梅干の製造・販売を行っている(株)岩本食品・久保農園は、梅酢をもっと手軽に摂取してもらえるような健康美容食品の開発に取り組み、葉酸、食物繊維、コラーゲンなどを配合し、女性をターゲットとした毎日飲める梅酢「美梅酢」を開発。紀州みなべ産南高梅から作られた「美梅酢」は、特に夏場を中心に売上を伸ばしている。

(株)岩本食品 所在地 日高郡みなべ町晩稲1187
TEL 0739-74-2406
久保農園 所在地 日高郡みなべ町東本庄343-5
TEL 0739-74-2798

平成24年度
農工商連携ファンド
採択企業

⑤ 和歌山香釀

熊野古道のかほり 杉・木漏日・そよ風



和歌山は「紀州・木の国」と呼ばれるように、県土の約7割を覆う豊富な森林資源を持つ土地で、特に杉の生産量が最も多い。そこで和歌山香釀は、紀州材のひとつである杉の端材を活用し、高野山の伏流水を練水とした香り線香「杉」・「木漏日」・「そよ風」の3種類を開発した。地域資源を利用し地域のPRにも繋がるこの商品は、県内のお土産屋さん、道の駅等で購入することができる。現在売上を順調に伸ばしており、今後も多くのファンの獲得を目指している。

所在地 〒649-0301 有田市下中島35-1
TEL 0737-88-5775
代表者 代表者 脇村 正次
設立 平成5年4月

平成21年度
中小企業元気ファンド
採択企業

③ 原田織物(株)

クールマフラー



原田織物(株)は、糸から最終製品まで一貫して生産できる繊維業界では数少ない企業であり、「デザイン」「機能性」「高品質」「小ロット」「短納期」に徹底的にこだわり、常に新しいモノづくりに取り組んでいる。今回は初めての冷蔵商材として、冷却効果を持つ機能繊維を使用し、デザイン性に富んだ「クールマフラー」の開発に取り組んだ。これまで他国製の無地商品が主流で、色落ち・移染も多かった従来品と比べ、高品質・高付加価値商品となり、現在も人気商品として販売されている。

所在地 〒649-7203 橋本市高野町町古曾821
TEL 0736-42-3509
代表者 代表取締役 原田 晋平
設立 平成元年3月

平成23年度
中小企業元気ファンド
採択企業

① (株)メイワ

小型産業用冷水式インバーターエコチラー



精密工作機械等の冷水供給装置(チラー)は、工作機械側の内部発熱が変動してもチラー側から供給する水温を一定に保つこと、また省エネ性の追求が求められている。そこで、発熱負荷の変動に対応して能力が可変するインバーター制御搭載冷凍サイクルを開発し、工作機械からの戻り水温に関係なく、一定水温で冷水を供給できるチラーを製作。発熱ロスが少ない高効率圧縮機を採用し、また高効率水冷式冷凍サイクル・制御技術を開発したことにより、省エネ性を向上させた。

所在地 〒649-6503 紀の川市長田中345-1
TEL 0736-73-7300
代表者 代表取締役 高橋 正和
設立 昭和42年9月

平成23・24年度
中小企業元気ファンド
採択企業



第26回 わかやまテクノ・ビジネスフェア

開催！「わかやま発技術シーズ発表会」

わかやまテクノ・ビジネスフェアは、産学官連携などの新たな共同研究連携体の構築を通して、新産業を生み出すことを目的に毎年開催しています。その中のプログラムの1つである「わかやま発技術シーズ発表会」では、大学・高専・公設試等における、最新の研究成果や技術ノウハウ等のシーズを県内企業の方にご紹介しています。また、一般社団法人和歌山情報サービス産業協会の主催する「WAKASA インテクメッセ」との同時開催も行っており、昨年度の参加者数は過去最高を記録しました。

さらに、昨年度に引き続き、今話題のIoT・ITセミナーとの同時開催も予定しています。新たな研究開発の展開を考えている企業の方をはじめ、産学官連携のコーディネーターに関係する方など、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

産総研*より講師の方を招いて基調講演を行います ※…国立研究開発法人産業技術総合研究所

産総研と和歌山県は、相互協力を促進するための協定を今年2月に締結しました。昨年度に引き続き今年も講師の方をお招きし、基調講演を行っていただく予定です。

和歌山高専の相談ブース「産学官連携窓口」を設置します

初の取り組みとして、和歌山高専による相談ブースを設置します。専門的なアドバイスが欲しい方、これから産学官連携について取り組もうと考えている方など、お気軽にお越しください。

WAKASA インテクメッセ、IoT・ITセミナーとの同時開催

今年も、和歌山情報サービス産業協会主催のWAKASA インテクメッセ、ならびに財団が主催するIoT・ITセミナーとの同時開催を予定しております。



△第25回の様子(産総研・瀬戸政宏氏による基調講演)

日時 平成29年11月10日(金)

場所 ホテルアバローム紀の国
2F 鳳凰の間・3F 孔雀の間 (和歌山市湊通丁北2-1-2)

〔主催〕公益財団法人わかやま産業振興財団／和歌山県／一般社団法人和歌山情報サービス産業協会

〔後援〕国立高専機構和歌山高専／一般社団法人和歌山県発明協会／国立研究開発法人産業技術総合研究所

▼編集後記

「わかやま産業通信」第4号をお手にとっていたいただき、誠にありがとうございます。3・4ページの「戦略を知る」は今回からの新コーナーでしたが、如何でしたでしょうか？前号まで掲載していた「導き手の道」では、長年和歌山を支えてきた企業取材してきましたが、このコーナーでは創業年数に関わらず、さらりと光る挑戦企業をご紹介していきたいと思っております。今後もしよろしくお願ひします。

今回特集したものづくり経営改善スクールは、今年度も多くの受講生を迎え無事開講しました。ページ数の都合上お伝えしきれませんが、現役社員だけでなく、企業OBの方等にインストラクターを目指していただく取り組みもあります。ここで磨き上げられた受講生の方々の才幹が企業の発展を通して、将来的に和歌山の地域経済を支えてゆく。財団は、そんな皆様のステップアップのお手伝いができる支援策をいつでもご用意しております。

(編集室)



△第一期受講生・講師・事務局の懇親会の様子

特集している和歌山ものづくり経営改善スクールですが、「修了して終わり」にはしません。受講生の方には自社に帰っても高いモチベーションを維持してもらい、ぜひとも改善活動を実施して行ってほしいからです。そこでスクールでは、修了生連絡会である「和楽会」を立ち上げました。ともに学んだ同期生同士で定期的に交流し、お互いを刺激しあうことで継続的な改善活動に取り組んでいただければ幸いです。

もっと知りたい

和歌山ものづくり経営改善スクール

修了生連絡会「和楽会」

3つの主な活動内容

現場実習受入企業の取り組み報告・見学

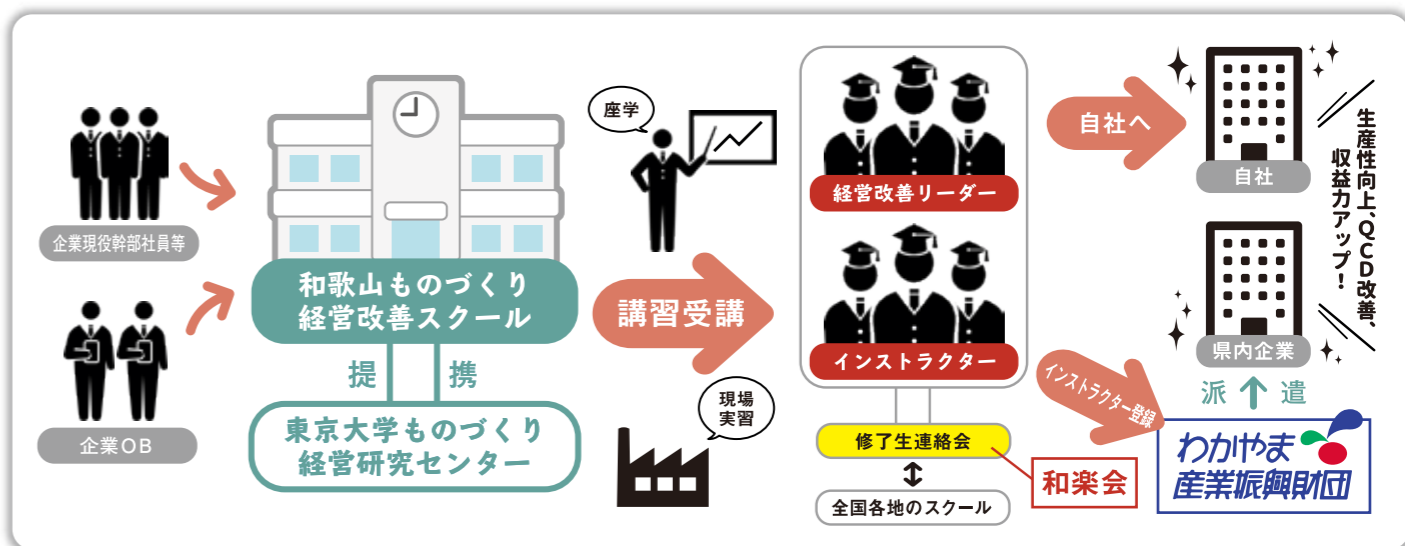
他県スクールの修了生企業間で相互訪問し、改善活動報告会や見学会、交流会等を実施します。

他県スクールとの交流

現役社員修了生所属企業の取り組み支援

開講中の現場実習で受講生を受け入れていただいた企業を和楽会で訪問し、その後の改善の進捗や状況を報告・見学します。

現役社員修了生の所属企業を和楽会で訪問し、訪問先のメリットや目的を明確化したうえで改善活動を推進します。



△和歌山ものづくり経営改善スクールの概要

挑戦したいことから、財団支援を逆引き!

支援案内

補…補助金等による支援 相…相談窓口による支援 情…情報提供による支援

サポートメールの登録はコチラ



- ・財団の支援情報をタイムリーにお届け!
- ・関係機関の実施する各種施策等をご紹介!
- ・無料配信です

登録ページへ↑

上記QRコードが読み取れない方は
http://www.yarukiouendan.jp/support_mail.html
へアクセス!

1 創業・起業したい!

創業支援セミナー 相情

支援内容 創業を志す方を対象に、知識を習得する講座や経験者による講演等を関係団体と共に行います。セミナー後は個別相談や交流会等も実施します。

担当 インキュベーションマネージャー ☎(073) 432-3412

レンタルオフィス 補

支援内容 創業したい方や起業して間もない方に、和歌山・田辺において県が安価なオフィスを提供し、事業推進を支援します。(※入居期間は原則1年間、更新有)

担当 インキュベーションマネージャー ☎(073) 432-3412

2 経営改善したい!

よろず支援拠点 相情

支援内容 中小企業・小規模事業者の経営上の様々なお悩みに対応します。経営/EC/創業などのセミナーも開催。

担当 和歌山県よろず支援拠点 ☎(073) 433-3100

企業プロデュース 相

支援内容 企業の経営診断・経営支援をいたします。商工会議所、商工会等が作成した「企業カルテ」を基に専門家集団が解決法について提案します。

担当 産業支援班 ☎(073) 432-3227

専門家派遣事業 相

支援内容 経営革新に取り組まれる方、新商品開発や新分野進出を目指している方など、意欲ある中小企業者へ登録専門家を派遣します。

担当 企業支援班 ☎(073) 432-3235

3 人材育成・人材導入したい!

プロフェッショナル人材戦略拠点 相

支援内容 新事業の創出、既存事業の拡大、生産性の向上など、企業の「攻めの経営」をリードすることができる、プロフェッショナル人材登用の機会創出を支援します。

担当 和歌山県プロフェッショナル人材戦略拠点 ☎(073) 433-3110

成長企業支援事業 補

支援内容 より良い人材を導入することで将来的に成長が期待できる中小企業者に対して、各部門の中核をなす人材を導入するための費用を補助します。

担当 産業支援班 ☎(073) 432-3227

技術人材育成のための基礎技術講座 相情

支援内容 生産現場部門の管理者、リーダーの方を対象に、生産性向上を目指すために必要な生産管理の各種手法について学んでいただく研修を開催します。

担当 テクノ振興班 ☎(073) 432-5122

和歌山ものづくり経営改善スクール 相情

支援内容 自社の改善活動の中心となって、生産性向上や品質の向上等の様々な改善活動に取り組める「現場リーダー」の育成を支援します。また、財団事業に基づきスクール卒業生をインストラクターとして、要請のあった県内企業へ派遣します。

担当 和歌山ものづくり経営改善スクール ☎(073) 432-3412

4 技術開発したい!

情報活用支援事業 相

支援内容 中小企業者の方からの知的財産や技術等のお悩みに対し、商用データベースを用いて高度な技術相談をお受けします。

担当 テクノ振興班 ☎(073) 432-5122

未来企業育成事業 補

支援内容 県内に主たる事業所を有する中小企業者と「産」「学」「官」から構成される共同研究連携体に対し共同研究の委託を行います。

担当 テクノ振興班 ☎(073) 432-5122

外国出願支援事業 補

支援内容 外国での事業展開を計画する中小企業者を対象に、戦略的な産業財産権の取得に向けた外国出願に係る費用を補助します。

担当 テクノ振興班 ☎(073) 432-5122

5 新たな取り組みをしたい!

わかやま農商工連携ファンド 補

支援内容 県内の中小企業者と農林漁業者が協力して、新商品や新サービスを開発する際に係る費用を補助します。

担当 産業支援班 ☎(073) 432-3227

戦略産業雇用創造プロジェクト 補情

支援内容 「ロボット等加工・組立技術」「医療・福祉」「航空・宇宙」「化学」「バイオ・食品」「日用品」分野の良質な雇用創出を図るため、当分野への進出を支援します。

担当 戦略産業雇用創造プロジェクト ☎(073) 433-8556

専門技術研究会 補

支援内容 大学・工業高等専門学校・公設試験研究機関の研究員が主宰する研究会の運営活動経費を補助します。

担当 テクノ振興班 ☎(073) 432-5122

テクノ・ビジネスフェア 相情

支援内容 大学・工業高等専門学校・公設試験研究機関の研究員が主催し、情報交換の場を提供します。

担当 テクノ振興班 ☎(073) 432-5122

テクノサロン 情

支援内容 各業界で活躍する講師による講演及び交流会を通じて、県内の産学官のより一層の交流を図ります。

担当 テクノ振興班 ☎(073) 432-5122

6 新しい取引先を開拓したい!

展示会出展支援 補

支援内容 国内・海外の展示会への出展に係る費用を補助します。また、集団出展形式でいくつかの国内外展示会への出展を支援します。

担当 産業支援班 ☎(073) 432-3227 / 企業支援班 ☎(073) 432-3235

わかやま産品商談会 情

支援内容 優れた和歌山県産品を有する県内企業と県内外購買企業との商談の場を提供し、販路開拓を支援します。

担当 企業支援班 ☎(073) 432-3235

海外ビジネス実現支援事業 相情

支援内容 海外ビジネスに精通した大手総合商社等のOBを派遣し、商談アレンジや通訳等、総合的に支援します。

担当 和歌山国際経済サポートデスク ☎(073) 433-2837

海外市場開拓支援 補

支援内容 海外進出に関心がある方を対象に、海外市場調査の実施及び、海外での展示会出展に係る費用を補助します。

担当 和歌山国際経済サポートデスク ☎(073) 433-2837

下請取引あっせん 相情

支援内容 専門員が中小企業を訪問し、受注機会の拡大を支援します。また、大手メーカーを招いた商談会等を開催し、新たな受注機会を提供します。

担当 企業支援班 ☎(073) 432-3235

下請かけこみ寺 補

支援内容 中小企業者が抱える取引上のトラブルでお困りの方に、問題解決に向けたアドバイスを行います。

担当 和歌山県下請かけこみ寺 ☎(0120) 418-618

広告

TAKESHIMA IRON WORKS & CONSTRUCTION

デッカイ仕事!

ウクウクが止まらない

ものづくりは「技」「知恵」「感性」の総合力。
私たちは人々の生活を豊かにする空間と
安全・安心な場所を提供し社会に貢献していきます。



竹島鉄工建設株式会社

〒643-0813 和歌山県有田郡有田川町西丹生岡 285 番地 1
TEL : 0737-52-5454 FAX : 0737-52-5961
URL : <http://www.takeshima-tekko.com>

オカザキ紀芳庵は、
観光事業を通じて地域に活力を与えます。
地域の農産物を使った
オリジナル商品を企画開発し、
地域の魅力を発掘し内外に発信します。



株式会社 オカザキ紀芳庵

和歌山県橋本市高野口町大野 1807-16
tel.0736-43-1401 fax.0736-44-1830
info@koyasan.com



当社では「無限の創造にチャレンジする」の精神で精密部品加工を通じて、独自のアイデアと技術を築いて参りました。あらゆるユーザーのニーズに応じて、より高品質なものを、より早く、より低コストでお届けするように、つねに前向きに取り組んでいます。

ADVAN
アドバン工業株式会社

本社 〒640-8441 和歌山市栄谷 882
TEL : 073-451-3312 FAX : 073-452-2255
URL : <http://www.adv-an-industry.co.jp>
Email : head_office@adv-an-industry.co.jp

人と社会の「しあわせ」のために
化学品の創出を通じて、豊かな社会実現に貢献します。

For the "happiness" of people and society
We contribute to the realization of a plentiful society, through the creation of chemical products.

ありがとうございますを化学する

新中村化学工業株式会社
Shin-Nakamura Chemical Co.,Ltd.

〒640-8390 和歌山市有本687 TEL:073(423) 3256
URL <http://www.shin-nakamura.com/>

イベント等スケジュール

2017/8/1 - 2018/2/28

※下記のスケジュールは予告なく変更することがあります。ご了承ください。

創業・起業したい!

- ・ 募集期間：8/1～9/30 創業支援セミナー in わかやま 「ビジネスプランコンテスト 一次募集」
- ・ 開催日：8/19 創業支援セミナー in わかやま 「第5回 創業支援セミナー “ケーキ作りで和歌山を元気に!”」
- ・ 募集期間：10/1～11月中旬 創業支援セミナー in わかやま 「ビジネスプランコンテスト 二次募集」
- ・ 開催日：10/14, 28 創業支援セミナー in わかやま 「事業計画策定講座」
- ・ 開催日：2/24 創業支援セミナー in わかやま 「ビジネスプランコンテスト プレゼンテーション・表彰式」

経営改善したい!

- ・ 開催日：8月下旬 和歌山県よろず支援拠点 「e コマース研究会 8月例会」
- ・ 開催日：9/23 和歌山県よろず支援拠点 「e コマース研究会 9月例会」
- ・ 開催日：9/25 和歌山県よろず支援拠点 「よろず支援拠点 Presents 経営セミナー」
- ・ 開催日：10月下旬 和歌山県よろず支援拠点 「e コマース研究会 10月例会」
- ・ 開催日：11月下旬 和歌山県よろず支援拠点 「e コマース研究会 11月例会」
- ・ 開催日：12月下旬 和歌山県よろず支援拠点 「e コマース研究会 12月例会」
- ・ 開催日：1月下旬 和歌山県よろず支援拠点 「e コマース研究会 1月例会」

人材育成・人材導入したい!

- ・ 開講期間：7/5～9/14 第二期 和歌山ものづくり経営改善スクール
- ・ 開催日：9/15, 22, 29 基礎技術講座「ビデオ撮影による現場改善と5S改善の進め方」研修
- ・ 開催日：10/2, 16, 30 基礎技術講座「利益を生むQCDの基礎と改善のコツ」研修
- ・ 開催日：10/26 基礎技術講座「食品製造業品質管理者」研修
- ・ 開催日：11/6, 20, 27 基礎技術講座「納期遵守の為の生産計画の進め方」研修
- ・ 募集期間：10月上旬～11月上旬 第2回 成長企業支援補助金〔申請者募集〕

新たな取り組みをしたい!

- ・ 開催期間：8/17～8/19 おもしろ科学の実験工作教室
- ・ 募集期間：10月上旬～11月中旬 第2回 わかやま農商工連携ファンド事業〔助成事業者募集〕
- ・ 開催日：11/10 第26回 わかやまテクノ・ビジネスフェア
- ・ 開催日：11/10 第4回 経営強化のためのIoT・ITセミナー
- ・ 開催日：12月中旬 若手研究者研究成果発表会
- ・ 開催日：2月上旬 林業・水産試験場成果発表会

新しい取引先を開拓したい!

- ・ 募集期間：8/23～10/16 近畿・四国合同広域商談会〔発注企業募集〕
- ・ 開催期間：9/6～9/8 第84回 東京インターナショナル・ギフトショー秋2017
- ・ 開催日：9/28 モノづくり受発注合同商談会
- ・ 開催期間：10/4～10/6 第20回 関西機械要素技術展
- ・ 開催日：10/25 わかやま産品商談会 in 和歌山 & わかやま中小企業元気ファンド 新商品コレクション
- ・ 開催期間：11/20～11/22 IFFT / インテリアライフスタイルリビング 2017

お問い合わせはコチラまで



- 総務部 (073) 432-3220
- 産業支援班 (073) 432-3227
- 企業支援班 (073) 432-3235
- テクノ振興班 (073) 432-5122
- インキュベーションマネージャー (073) 432-3412

〒640-8033 和歌山市本町二丁目1番地 (フォルテワジマ内)
☎ 073-432-3412 (代表) 🏠 <http://www.yarukiouendan.jp>

- 和歌山国際経済サポートデスク (073) 433-2837
- 和歌山県よろず支援拠点 (073) 433-3100
- 和歌山ものづくり経営改善スクール (073) 432-3412
- 和歌山県プロフェッショナル人材戦略拠点 (073) 433-3110
- 戦略産業雇用創造プロジェクト (073) 433-8556
- 和歌山県下請かけこみ寺 (0120) 418-618

広告



紀陽銀行の創業者支援

紀陽銀行は地域における新たな事業や雇用を創出する創業への支援を通じ、地域活性化に寄与します。
地方創生に向けた事業性分野の取り組みの一つとして、地域の創業者(創業予定者)支援に積極的に取り組んでいます。
公的機関と連携し創業支援セミナーの開催、公的支援策活用の情報提供等も行っております。

創業者支援総合スキーム

- ◆創業者(創業予定者)向けプロパー商品である「紀陽創業者支援ローン」の取り扱い
- ◆和歌山県および和歌山市中小企業融資制度における創業関連資金の低金利での融資取り組み

【創業支援拠点のご案内】

創業支援を行う支援機関の連携窓口として、紀陽ビジネスセンター(本店A T Mコーナー2階)をご利用ください。
お問い合わせ先: 紀陽ビジネスセンター TEL(073)426-7117



平成29年7月現在

広告

地域の中小企業と、未来を描く。

地域の経済を支える、中小企業のみなさまのために。
商工中金はさまざまな関係機関と連携して、そのビジネスをサポート。
豊かな地域社会の実現に向けて貢献してまいります。

商工中金



個人のお客さま向けの定期預金です。

※ 安心、確実、お得に増やす ※

有利な金利設定
(当金庫内比較)

固定金利の半年複利
(元本保証)

1年、2年、3年から
期間が選べる

定期預金 **マイナーベスト**

商工中金は、国とともに、中小企業をサポートする金融機関です。
和歌山支店 TEL:073(432)1281

